

会議結果報告書

1. 会 議 名 令和6年度 第1回 印西市環境推進市民会議
2. 日 時 令和6年5月17日（金）9:30～11:30
3. 場 所 市役所会議棟 204 会議室
4. 出席委員：山崎会長、白川副会長、川井委員、國武委員、小山委員、富川委員、橋本委員、
福井委員、村形委員、渡辺（壽）委員、渡辺（統）委員

事 務 局：岡本環境保全課長、海老原保全係長、清田主査補、本庄主事

5. 傍 聴 者 0 名
6. 配布資料
 - ・会議次第
 - ・資料1 令和5年度 印西市環境推進市民会議スケジュール（案）

7. 内容

- (1) 開 会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議 事

①令和6年度の環境推進市民会議の活動について

—令和6年度の環境推進市民会議の活動について事務局より説明—

議 長：ただいまの説明について意見・質問等があればお願いします。

委 員：スケジュールに関して、金曜日以外は厳しいため、これでは私は欠席するしかないが、
他の方が良ければ問題ない。

議 長：この他に、金曜日でないと難しいなど、会議の日程に関してはいかがか。

委 員：私も自身が主催している会議の予定の都合で金曜日が望ましい。会議室の関係でどう
しようもなければやむを得ないが、できれば金曜日をお願いしたい。

議 長：事務局、検討していただくことは可能か。

事務局：会議室については、市役所ではなく文化ホールに変更するなどし、調整は可能と考える。

委 員：牧の原地域交流センターなどはどうか。文化ホールであれば駐車場も変わらないため、
良いかもしれない。私も金曜日の方が良い。

議 長：7月17日と10月17日の会議について、金曜日でもう一度検討いただくということで
良いか。

委 員：第3金曜日を避けていただけるとありがたい。

議 長：今年度は会議が5回と貴重な機会の為、有意義な会議にできればと思う。

②いんざい環境フェスタについて

—いんざい環境フェスタについて事務局より説明—

議 長：今日の会議で次は本番となるため、今日決めることをしっかり決めていきたい。前回の
会議では、クイズを二つ準備し、二つのうち一つが温暖化に関するクイズ、もう一つが生物多様性・グリーンインフラに関するクイズにしてはどうかという案が出てい

たかと思う。温暖化のクイズについては、私の方で作ったクイズが手元の資料にあると思うが、このクイズで良いかどうか、修正した方が良い点などがあればご意見いただきたい。

委員：温暖化のクイズに関して、「目指しているけど」という文言に抵抗があるため、「目指していますが」などに変えた方が良いのではないかと。

委員：第一に「カーボンニュートラル」について知らせるというのはわかるが、じゃあ私たち市民はどうするの、私たち市民の生活にどう関係するのというところを説明するか、資料を渡す事が必要だと思う。

議長：そうであれば行動ベースのクイズにしたらいのではないかと。前回の会議で、ゼロカーボンとは何かというクイズにしようということでグループ内で検討したが、ニュートラルという言葉の方が一般的であるため、ゼロカーボンをカーボンニュートラルに置き換えたという流れでこのクイズを作っている。市民一人ひとりのできる行動を促すためのクイズにするのであれば、例えば、冷蔵庫に物を詰め込みすぎて良いのかなというようなクイズにしたらいのではないかと。

委員：行動を促すクイズにしなくても良いが、例えば、ゼロカーボンシティ宣言をするときに、市民はこういう行動をしますということを示すパンフレットなどは市として作る予定はあるのか。

事務局：パネルは用意しようと考えている。

委員：必ずしもクイズにする必要は無いが、やはり私たちがどうするのが大切だと思う。このクイズはこれで良いと思うが、そのアフターフォローみたいなことが少しあったら良いと思う。

議長：温暖化防止印西のブースも出すので、そこでもカーボンニュートラルについてはやる予定。ただし市民に何ができるかというのがひとまとまりになったパネル製作は情報量がすごい量になるため、温暖化防止印西のブースでも特に予定していない。

委員：公共交通機関を使いましょうとか簡単にできる事が色々あると思うが、それを改めて出すみたいなことでもいいのではないかと。

委員：細かな取組を挙げればきりが無いと思う。その取組の中のどれか一つというよりは、今回は宣言を出すため、「カーボンニュートラル」という言葉を意識させるだけで良いのではないかと。そのために何をやったらいいかということ具体的にいくつか出して、それを問題にするとか。

委員：何のために宣言を出すというところがないと他人事だと感じる。

委員：言葉自体がわからない人がたくさんいるのではないかと。

議長：今の意見は環境カレンダーに載せていこうと考えている。市民会議としての発信としては、環境カレンダーを利用するというのが一つの方法ではないか。温暖化の配慮行動について、市民としてこういう事ができますということをカレンダーとしてひとまとめにできる。今のご意見はカレンダーで使わせていただくということでよいか。

委員：カレンダーの方では色々な具体例が出せる。カーボンニュートラルはこういうことで、例えばこういうことができれば、その取組を少しでも進めることができるということ、一、二でも良いから、具体的に市民の皆さんにお知らせするのが良いのではない

か。

議長：例えば、私たちは何ができるのかというのをパネル1枚作るということではできと思うが、そのような形で良ければ、もう一枚追加し、計三枚パネルを作りたいと思う。

委員：(一同合意)

委員：温暖化のクイズに関してもう一点あり、「地球温暖化を引き起こす」と書いてあるが、正確な言葉としては「気候変動」ではないか。また、引き起こすとあるが、実際にもう既に起こっていることであるため、そのようなニュアンスにできないか。

事務局：子どもに対してはどうか。気候変動という言葉はわかりにくいのではないか。

委員：気候変動（地球温暖化）ではいかがか。

議長：強い言葉にすると気候危機ではあるが、小学校の教科書では地球温暖化という表記になっているようだ。それでは気候変動（地球温暖化）という表現にしたい。

事務局：答えとしては②になるが、パネルでは細かいところを書いて一応読んでもらう。

委員：ニュートラルとゼロカーボンがイコールだと皆さんわかるか。

議長：これをカーボンニュートラルという言葉とするか、それとも印西市がゼロカーボンシティ宣言としているため、「2050年ゼロカーボンシティを宣言しますが」という表現でも良いのではないかと思います。

事務局：ゼロカーボンシティ宣言というのは、2050年カーボンニュートラルを目指すことを表明した自治体であるため、ゼロカーボンシティ宣言を表明しましたという事をアピールしたい。2050年のカーボンニュートラルを目指し、ゼロカーボンシティ宣言を表明しましたが、という表現が望ましい。

議長：いただいたご意見含めてパネルを修正する。他に意見がなければ、続いて、生き物のクイズをどうするか。

委員：アメリカザリガニのクイズでいこうと決まっているが、行動における禁止事項については具体的事項を挙げて○×をつける形で進めたい。この後のグループ討議で決定する予定。

議長：承知した。次に、エコカレンダーについてパネル展示で良いか検討したい。

委員：どこで手に入るかというのも書いたうえでの展示が望ましい。

事務局：各出張所に置かせてもらっている。

委員：市民活動支援センターのところを見てもエコカレンダーがどこにあるのか、表示も無くわからなかった。

議長：ではカレンダーについては、パネルにして展示するという事で良いか。

事務局：例えばA0サイズに1枚に全部が入っているのを展示するという感じで良ければ事務局で用意したいと思う。

委員：来場者に渡すかどうかはどうするか。

事務局：事前にカレンダーを用意することは可能である。

委員：エコカレンダー本体については、事前に何部か用意して欲しい。100部だと結構な量になるが、印刷できれば50ぐらいでも、印刷して渡すのが良いのではないか。

議長：部数の希望は50部で良いか。続いて、当日参加できる方の午前と午後の割り振りを決めたい。事務局に確認したところ、前回は立って説明するスタイルだったということ

だが、座ってパネルを出して説明する形の方が、時間が長くなる時に楽だと思いうため、いかがか。

委 員：座ってパネルを出して説明するっていうスタイルもできますということだが、今まで一対一みたいな感じで回していたのを、パネルを置いておけば、十人ぐらいを一度に対応できるのか。

議 長：例えば説明する方が3人いたら3人までで対応できるような感じになる。

委 員：座ってパネルを出して一人対複数人対応ではないということか。一人対複数人対応できるのであれば座っている方が楽かと思う。

議 長：みなさんグループで来るため、一つのグループに一個か二個クイズを短い時間でやって、スタンプを押して次のブースに行ってもらう流れになると思う。

委 員：座っている暇はないと思う。

議 長：これまで通り立ちでやって、落ち着いたら座るという形としたい。

議 長：午前午後でそれぞれ参加できる方はいるか。

～意見・発言～

議 長：午前は國武委員、白川委員、橋本委員、渡辺委員、午後が富川委員、福井委員、渡辺委員としたい。集合時間はここで確認しなくてもよいのか。

事務局：当日の詳細は、参加いただける方に事務局からメール連絡させていただくが、本日の会議の終了までには時間の目安をお知らせさせていただく。

議 長：環境カレンダーをパネルにして展示するため、このこれまで展示していたものはどうするか。

事務局：スペース的には難しいかと思われる。

議 長：ではこれは無しの方角とし、環境フェスタに関しては以上とする。

事務局：カーボンニュートラルについては、みんなのいっぽや東京ガスブースでも取組のご案内をしているため、誘導いただいて構いません。

委 員：先ほど議題1のスケジュールについて、水曜日から金曜日になる日はいつ頃に分かるか。予定を早めに知りたい。

事務局：この後のグループワークの時間に調整し、こちらでも会議終了までにお知らせしたい。

③環境基本計画の推進に係る市民会議の取組について

議 長：環境基本計画の推進に係る取組の検討ということで、グループワークを進めたいと思うが、環境カレンダーグループは今年度また2025年1月発行を目指してカレンダーの作成に向けての活動、グリーンインフラグループに関しては、委員から印西の里山について市長と話した結果の発表をお願いする。

委 員：前回の市民会議後に市長と話をして、里山課という課を作り、印西の自然を守ってほしいということを申し上げた。今回市長選挙では、四名から五名が立つと言われているが、どの市長候補も自然については一切書いていない。この件については、グリーンインフラを守るための協議会の設置に向けた動きもあるため、そことの連携調整をしながら、私たちのグループでもやっていきたいと思っている。次の市長が今の市長でも新しい市長でも、また話に行かないといけない。条例を作ることについてはとて

も大変と聞いているため、その辺は環境保全課ともしっかりタッグを組んでいきたい。

委員：会議が 5 回ということで忙しいスケジュールの中開催していただいているが、この間の何回かを自主的に会を開くことは可能か。人為的な問題で、例えば議事録だけ取るのであれば、録音を朝設定していただくなど、そういう方法を考えていただくことは可能かをお伺いしたい。例えば市長が今度変わられたときに、同じように何度も話をしに行きたいと考えており、そういう打ち合わせをしたり、カーボンニュートラルシティ宣言された事によって少しずつ変わっていく環境のことについて、私たちもシェアする機会があればいいなど。

事務局：会議の報償の予算が 5 回分しかないため、自主的な会議に報償が出ないことにご了承いただけるのであれば、そういったことも考えられるかと思う。

委員：場所が取れないためこのようなスケジュールになっているわけであり、私たちが自主的に会議をしたいと、お金は要りませんという風に会議をしたいというときに、部屋を提供していただけますか、という質問である。

事務局：会議の場所を取ることは、状況によるが可能ではある。

委員：自主的に集まったとしても、やはり記録として残したいというのもある。正式な会議として招集していただいた中で話し合いを取れる時間も限られるため、事務局が 4 人もいなくても、一人でも良いし、もし一人も来られないのであれば、会議が始まる前と後だけでも来ていただき、結果を残して議事録をホームページに公表するということができないか。

議長：そこまでやると会議という形になってしまうため、難しいと思う。記録に残したい場合は、次回の会議で報告いただく形にするのが良いかと思う。

委員：自主的にやる場合は、会議室だけ無償で借りられれば、この議題について参加する方はいますかと告知し、参加できる方だけで打ち合わせをするという形とし、その議事録については、次の本会議の際に、自主的に集まった会議で何を話したかということを報告すると。

議長：そうすれば議事録にも残るかと思う。

事務局：自主的な会議ということで正式な会議の開催の回数には含まれない形になってしまうが、本会議の時にまとめて発表していただくという形ということであれば、会議室の確保については協力させていただきたい。

議長：他になければ、これよりグループ検討に移るが、今回検討経過の発表はどうか。

委員：環境フェスタの生きものクイズに関する内容について発表させていただきたい。

議長：それでは 11 時 20 分まで検討時間とする。

～グループ討議～

議長：それではグリーンインフラグループから環境フェスタのクイズについて発表をお願いします。

委員：問題 1、外でアメリカザリガニを家に持ち帰って飼う。○か×か。問題 2、家で飼っていたアメリカザリガニを池に逃がす。○か×か。アメリカザリガニは昨年 6 月から条件付き特定外来生物に指定された。メダカやヤゴなど小さな生き物を食べ尽くしてしまい、それらの生き物の産卵場所となる水草を切ってしまい絶滅させてしまうため

である。捕まえるのはいいが逃がすのは禁止された。アメリカザリガニを店で販売することも禁止された。違反すると罰金を払うことになる可能性があり、個人の場合罰金 300 万円か懲役三年以下である。

議 長：今の案に関してご意見ある方はいるか。

委 員：捕ったその場で放す、いわゆるキャッチ&リリースは違法ではないということで、解説の記載からは省略した。

委 員：キャッチ&リリースも×にしてほしいところではある。

議 長：以上で議事を終了とする。

(4) その他

—事務局からの連絡事項—

(5) 閉会

以上

令和 6 度第 1 回印西市環境推進市民会議の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和 6 年 7 月 5 日

印西市環境推進市民会議 委員 富川 和幸

印西市環境推進市民会議 委員 橋本 千代子